

一人の力は弱くてもみんなの力を合わせれば 変えられます!

内藤市長は

都市開発株式会社という徳島市のオミセクターに 20億円
という大金を貸し付けると決めた。

都市開発(株)は 2022年 アミューグランドオープンに向け
現在テナント誘致を進めています。

でもそごうが撤退し、さらにコロナ禍での外出自粛が続く中
立て直し計画は、現実的でしょうか?

疑問1. 無謀な融資ではないか?

都市開発はすでに67億5000万円
が担保に決まっている。

もう銀行はこれ以上貸してくれない!

それを内藤市長は、

7年間は無利子

その後の20年間は0.15%の低金利
での返済を設定した

疑問2. 返済計画は適正だろうか?

2022年にグランドオープンして
リゴウ創業当時、は売り上げが
500億円あったそうである。

それを、百貨店が衰退している

今に、500億円の売り上げを
見込むと言っている

昔のよりに、にぎわいがかもどる

と思う市民はいるだろうか?

ましてや コロナ禍での外出自粛

この20億が続く中、返済は大丈夫か?

コロナ禍で弱者に陥った方達への支援

貧困家庭の子供達への支援

民間保育士さんへの待遇改善、医療従事者への支援に手付けたら

どんなにいいでしょう

疑問3. 夕張りの二の舞に
ならないか、

(夕張市はオミセクターにお金を
融資したことが破綻の原因とされている
はたん)

これから都市開発がグランドオープン
に向けて必要としているお金

運転資金 10億

設備投資 23億

敷金の返着額 4.4億

金融機関への返済 4.3億

合計 42.7億

このうち

20億円を融資することが決まった

換算してみると・徳島市

20億円 = 2,000,000,000円

は赤ちゃんからお年寄まで

一人当り 8000円

5人家族で 40,000円